

編輯だより

□
天高く大氣清き候となり山川草木の親しい時となりました、都會も地方も秋は心の落付く時でありませ、忙しい諸君の仕事の間にも世界を眺め自己の人生を確立して各自の本分に突進しやうではありませんか。

□
本誌編輯部員として暫らく活動を續けてくれました大森無人君は数月の旅を支那長江沿岸から蒙古方面に巡る事となりました、あの平凡なる大陸に蘆荻を友として悠々の行を續けつゝある健在なる君の風姿を想像します。

□
本號の日本青年館は日本全國の青年のものであり精神的團結のシンボルとして初めて中央に出來た紀念すべきものであります、執筆者木村榮二郎氏は自

分で設計し自分で工事を監督された人ですから尊い經驗が含まれてをるものです。講堂と宿舍とを併設した公堂は之が初めてしやう、圖に就て注意すれば館内視察以上の面白味がある事と思ひます。

□
函館市道路改善會の事業及び其舗装工事は全國の他の大都市のみに學ぶべきものである。隅田川の言問橋基礎工事は請負人の段取に必ず参考として見るべきものがある。市街線工事は大河戸宗治氏の名と共に有名なものである。チューニングプラント混泥土工事に必讀の参考記事である。

□
建築の合評會は關係者が何れも旅行中で九月の會合は流會となりました、建築のみならず土木方面の斯うした合評會も趣味ある事と思ひます、何等かの形で又實現したいものです。(十月一日記者)

最近受贈圖書雜誌

名古屋工業會々報九月號	其	會	工政九月號	工政會出版部
隧道工事編(本文參照)	大	正商工社	工人九月號	工人俱樂部
日立評論第八卷第九號	其	社	稻友會雜誌二十九號	稻友會
GENERAL ELECTRIC REVIEW Vol 28, No.9			朝鮮土木建築業協會々報八十八號	其
SUCCESSFUL METHODS Vol 7 No.9			建築の普及九月號	帝國工業教育會

大賣捌所 東京堂 大東館 北隆館 東海堂	發行所 東京市魏町區有樂町一丁目一番地 電話大手五〇八四番 振替東京七〇六五番	印刷所 東京市京橋區木挽町一ノ一四 鷺見文友堂	編輯兼 發行所 東京市京橋區木挽町一ノ一四 鷺見文友堂	大正十四年十月十七日印刷納本 大正十四年十一月一日發行	注 文は總て前金、送金は必ず振替貯金に して振替東京七〇六五番宛に御集 郵便に於ては但し申付込は御希 便による但し申付込は御希 集金拂込は御希 料とも御負擔の事	講讀料 一六ケケ 外行ハ二部稅共八十六錢	稅 七 十 錢 稅 二 錢	每月一回一日發行 一ヶ年十二册發行	土木 建築 工事畫報 第一卷第九號 定價一部七十錢(稅二錢)
						稅 二 錢			